

平成29年度北海道地域学校協働活動推進管内別研修会（釧路会場）事業報告書

本研修会は、管内における子どもの学びや成長を支える活動を推進している人材の資質向上を図るとともに、地域学校協働活動の一層の充実を目指すことを目的に開催しました。

■日 時：平成29年10月31日（火）

■会 場：釧路町公民館

■参加者：41名

地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動、子ども未来塾、の各事業で活動している方、教職員、PTA、ボランティア活動を行っている方、北海道家庭教育サポート企業の従業員やその家族の方等

■日 程:

9:00	9:30	9:40	10:00	10:50	11:00	12:00	12:10
受付	開会	説明	講義	休憩	演習	閉会	



開会式の様子

【説明】「地域学校協働活動について」

北海道教育庁釧路教育局教育支援課社会教育指導班主査 柴田 快憲

地域学校協働活動に関わる国の動向、関連する北海道の事業状況及び今後の方向性について説明しました。北海道における地域学校協働本部の現状については、約6割の市町村で未設置ですが、今後、コミュニティ・スクールと連動して体制を整備することで、子どもの成長を支える活動が活性化する視点について説明しました。



説明の様子

【講義】「支援が必要な子どもがのびのびと活動するために大人ができること」

釧路短期大学准教授（臨床心理士）塚本 久仁佳 氏

発達障害の種類や支援方法について講義を行いました。特に「自閉スペクトラム症」と「注意欠如・多動症」について、その特性と基本的な支援方法について解説しました。

また、子どものパニック時の対応を取り上げ、パニックの原因を考えることが大切であり、例えば一番になることへのこだわりが強い子どもに対しては、一番にならなかった時はどうするかを予め考えさせておくなど、子どもへの事前の具体的な関わり方について紹介しました。



講義の様子

【演習】「簡単なレクリエーション・室内遊び」

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

道立青少年体験活動支援施設ネイパル厚岸グループ社会教育主事 森 健太郎 氏

室内でできる簡単なレクリエーションや遊びについて演習形式で紹介しました。「体を動かしながら心をほぐす」、「コミュニケーションを促す」など、活動の目的を意識しながら実施することの大切さについて説明しました。その後、楽しく交流できるジャンケン遊びや、相手の背中に動物の名前を書いたガムテープを貼り、質問を通して書かれた動物を推測する活動など、目的の異なる数種類の演習に取り組みました。

最後に、参加者は、今後自分が子どもたちに指導する際には、どのようなアレンジを加えるとより効果的に実施できるかについて考えました。



演習の様子

【参加者の声】

- 地域学校協働活動という言葉は聞いたことがありましたが、ほとんど知識がなかったので、詳しく知れてよかったです。
- 講義では、具体的な例をもとに話していただきとても良かったです。パニックを起こさない為に事前に対応するということを実践してみたいと思いました。
- 演習では、児童館で実践できそうな内容がたくさんあって楽しかったです。行事の時にやってみようと思います。
- 今後の研修機会において、関連事業のスタッフが情報交流をするなど、つながりを作れる機会があればと思います。